



平成29年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年9月11日

上場会社名 正栄食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8079 URL http://www.shoeifoods.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)本多 市郎
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)藤雄 博周 (TEL)03(3253)1211
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第3四半期の連結業績(平成28年11月1日～平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第3四半期	78,567	1.1	4,592	25.6	4,648	27.3	3,086	31.1
28年10月期第3四半期	77,682	△4.2	3,654	28.7	3,650	18.1	2,354	1.4

(注) 包括利益 29年10月期第3四半期 3,956百万円(446.4%) 28年10月期第3四半期 724百万円(△82.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第3四半期	181.04	—
28年10月期第3四半期	138.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第3四半期	63,255	36,022	55.7
28年10月期	61,912	32,570	51.4

(参考) 自己資本 29年10月期第3四半期 35,274百万円 28年10月期 31,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	10.00	—	14.00	24.00
29年10月期	—	15.00	—	—	—
29年10月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 2. 平成29年10月期(予想)年間配当金の内訳 普通配当38円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成29年10月期の連結業績予想(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	0.3	5,300	12.6	5,300	14.5	3,400	14.0	199.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年10月期3Q	21,159,914株	28年10月期	21,159,914株
29年10月期3Q	4,109,991株	28年10月期	4,109,448株
29年10月期3Q	17,050,208株	28年10月期3Q	17,050,572株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善から総じて堅調に推移しましたが、個人消費は未だ不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、少子高齢化による消費スタイルの多様化や、アクティブシニア層の増加から「栄養価」や「おいしさ」と並んで、健康の維持・増進など「ヘルスケア」を訴求する新商品開発がより一層活発化しております。また、人手を多く要する食品産業の慢性的な人材不足や雇用ミスマッチは、勤務体制などの働き方への取組みも含め、難しいかじ取りが求められる事業環境にあります。

このような状況下にあつて当社グループは、国内外の多様な調達先を確保して、また、幅広いお客様に対して安定的な供給を実現すべく、専門商社としてのグローバルネットワークと国内6工場、海外3工場の生産子会社を擁した専門的マーケティング戦略を展開してまいりました。

これらの結果、売上面については、乳製品・油脂類や製菓原材料類が堅調に推移し、菓子・リテール商品も伸長しましたが、乾果実・缶詰類は海外相場の価格低下から前年実績を下回るなど、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.1%増の785億67百万円となりました。

利益面については、人件費や物流コストの増加要因もありましたが、ナッツ・ドライフルーツ等の農産加工における生産性向上や、合理化設備投資による製造コストの削減等から総じて利益率が改善し、営業利益は前年同期比25.6%増の45億92百万円となり、経常利益は前年同期比27.3%増の46億48百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比31.1%増の30億86百万円となりました。

所在地セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高	68,674	14,422	8,081	91,178	△12,611	78,567
セグメント利益	3,799	827	275	4,903	△311	4,592

(注) 1. セグメント利益の調整額△311百万円には、セグメント間消去△44百万円、全社費用△267百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

1 日本

日本国内の売上高は、海外乳製品や菓製品等の製菓原材料およびB to C向けの菓子類やナッツ等のリテール商品が伸長しましたが、海外相場が低下傾向にあった輸入食材は、総じて前年実績を下回るなど、当地域の売上高は前年同期比1.2%減の686億74百万円となりました。セグメント利益については、生産子会社の工場稼働率の向上から前年同期比15.3%増の37億99百万円となりました。

2 米国

当地域の売上高は、中国産シード類の輸入販売が減少したものの、米国产の乾果実類やナッツ類の輸出販売が堅調であったことから、当地域の売上高は前年同期比17.1%増の144億22百万円となりました。セグメント利益については、クルミ事業の採算が引き続き良好であったことから前年同期比85.2%増の8億27百万円となりました。

3 中国

当地域の売上高は、日本向けの輸出売上が減少しましたが、中国内および香港での国内販売が堅調に推移したことから、当地域の売上高は前年同期比4.0%増の80億81百万円となりました。セグメント利益は、人件費や物流費等の負担増もありましたが、主力の乾果実・ナッツ類の採算改善から前年同期比83.6%増の2億75百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億43百万円増加し、632億55百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「商品及び製品」が22億30百万円増加したものの、「現金及び預金」が2億85百万円、「受取手形及び売掛金」が11億46百万円、「原材料及び貯蔵品」が10億84百万円、「繰延税金資産」が2億29百万円それぞれ減少したことから、前連結会計年度末に比べ1億46百万円減少し、423億81百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が14億25百万円、無形固定資産が14百万円、投資その他の資産が49百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ14億89百万円増加し、208億74百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ21億9百万円減少し、272億32百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「短期借入金」が5億24百万円、「未払法人税等」が6億35百万円、「賞与引当金」が4億89百万円それぞれ減少したことから、前連結会計年度末に比べ18億93百万円減少し、210億1百万円となりました。固定負債は、「退職給付に係る負債」が1億20百万円増加したものの、「長期借入金」が3億63百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ2億15百万円減少し、62億31百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ34億52百万円増加し、360億22百万円となりました。その主な要因は、「利益剰余金」が25億92百万円、「為替換算調整勘定」が7億40百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の連結業績予想は、平成29年6月12日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,690,575	7,405,356
受取手形及び売掛金	18,708,335	17,561,936
商品及び製品	10,908,890	13,139,051
仕掛品	893,409	915,366
原材料及び貯蔵品	2,985,569	1,901,408
繰延税金資産	650,859	421,206
その他	696,676	1,043,025
貸倒引当金	△6,485	△6,205
流動資産合計	42,527,829	42,381,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,462,482	7,567,273
機械装置及び運搬具（純額）	4,023,350	4,297,575
工具、器具及び備品（純額）	277,848	256,441
土地	2,329,100	2,440,358
リース資産（純額）	148,917	108,286
建設仮勘定	350,376	1,313,748
その他（純額）	100,061	134,200
有形固定資産合計	14,692,137	16,117,884
無形固定資産		
ソフトウェア	46,225	52,290
その他	134,997	143,355
無形固定資産合計	181,222	195,646
投資その他の資産		
投資有価証券	3,743,129	3,896,224
繰延税金資産	33,985	34,806
その他	783,337	679,123
貸倒引当金	△49,178	△49,318
投資その他の資産合計	4,511,273	4,560,835
固定資産合計	19,384,633	20,874,365
資産合計	61,912,463	63,255,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,925,602	8,993,448
短期借入金	8,331,709	7,807,138
1年内返済予定の長期借入金	744,254	784,140
未払法人税等	952,645	317,624
賞与引当金	940,186	450,980
役員賞与引当金	12,960	7,305
その他	2,987,700	2,640,459
流動負債合計	22,895,058	21,001,095
固定負債		
長期借入金	4,657,926	4,294,419
退職給付に係る負債	378,758	499,324
役員退職慰労引当金	267,570	291,911
繰延税金負債	942,846	986,107
その他	199,983	159,702
固定負債合計	6,447,083	6,231,464
負債合計	29,342,142	27,232,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,042,770	3,042,770
利益剰余金	27,421,243	30,013,599
自己株式	△3,701,083	△3,702,481
株主資本合計	30,142,666	32,733,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,734,237	1,816,493
繰延ヘッジ損益	△32,790	△15,287
為替換算調整勘定	△332	739,674
その他の包括利益累計額合計	1,701,114	2,540,881
非支配株主持分	726,540	748,446
純資産合計	32,570,321	36,022,952
負債純資産合計	61,912,463	63,255,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	77,682,028	78,567,533
売上原価	66,235,315	65,598,120
売上総利益	11,446,713	12,969,412
販売費及び一般管理費	7,792,076	8,377,147
営業利益	3,654,637	4,592,264
営業外収益		
受取利息	5,870	3,631
受取配当金	48,630	56,252
受取保険金	92,597	30,369
持分法による投資利益	28,695	32,408
その他	112,449	95,087
営業外収益合計	288,243	217,748
営業外費用		
支払利息	139,375	111,944
為替差損	142,885	38,727
支払補償費	4,394	8,976
その他	5,621	1,741
営業外費用合計	292,277	161,390
経常利益	3,650,602	4,648,622
特別利益		
固定資産売却益	1,338	537
保険差益	161,937	-
その他	928	-
特別利益合計	164,205	537
特別損失		
固定資産除却損	20,507	9,135
その他	459	-
特別損失合計	20,966	9,135
税金等調整前四半期純利益	3,793,840	4,640,024
法人税、住民税及び事業税	1,011,398	1,327,926
法人税等調整額	386,727	202,284
法人税等合計	1,398,126	1,530,210
四半期純利益	2,395,714	3,109,813
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,174	23,000
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,354,539	3,086,813

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	2,395,714	3,109,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,143	89,262
繰延ヘッジ損益	△239,852	17,503
為替換算調整勘定	△1,459,950	740,007
その他の包括利益合計	△1,671,659	846,773
四半期包括利益	724,055	3,956,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	693,154	3,926,580
非支配株主に係る四半期包括利益	30,901	30,006

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,931,977	4,588,365	4,161,686	77,682,028	—	77,682,028
セグメント間の 内部売上高又は振替高	633,081	7,725,102	3,606,109	11,964,293	△11,964,293	—
計	69,565,058	12,313,468	7,767,795	89,646,322	△11,964,293	77,682,028
セグメント利益	3,294,003	446,820	150,232	3,891,057	△236,420	3,654,637

(注) 1. 第1四半期連結累計期間より海外現地法人の独立性強化を図ると共に、当該法人を統括する専任部門を本社内にて新設しております。これにより、セグメント利益の調整額に含めていた全社費用(主に一般管理費)の内、報告セグメントに帰属する費用△658,203千円を各報告セグメント(日本)に帰属させております。セグメント利益の調整額△236,420千円には、セグメント間消去14,350千円、全社費用△250,770千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,179,241	5,728,781	4,659,510	78,567,533	—	78,567,533
セグメント間の 内部売上高又は振替高	495,280	8,693,319	3,422,476	12,611,076	△12,611,076	—
計	68,674,522	14,422,100	8,081,986	91,178,610	△12,611,076	78,567,533
セグメント利益	3,799,931	827,889	275,961	4,903,782	△311,518	4,592,264

(注) 1. セグメント利益の調整額△311,518千円には、セグメント間消去△44,428千円、全社費用△267,090千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。